

水道事業経営戦略の概要

(事業会計)

資料1

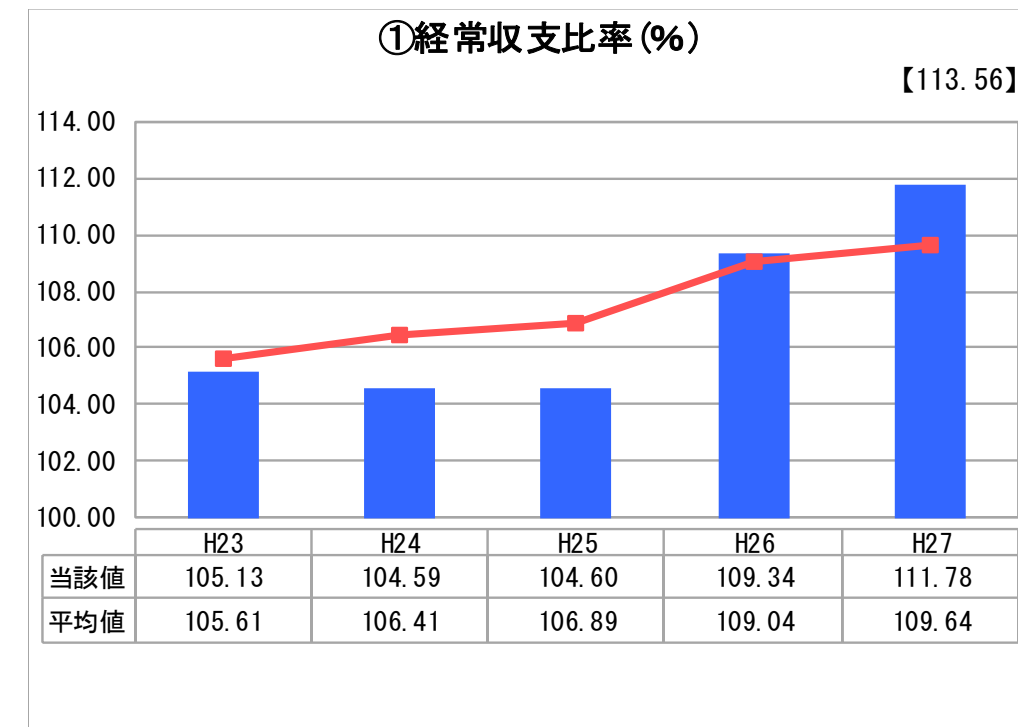
◎これまでの経営改善の取組

H22～23 企業債の補償金免除繰上償還を実施し、支払利息を抑制。
 H25～ 新たな企業債発行を抑制することにより、起債残高を低減(毎年約130,000千円程度)。
 H28～ 道路事業に伴う水道管更新について、見直しにより耐用年数未滿の管布設替を抑制。

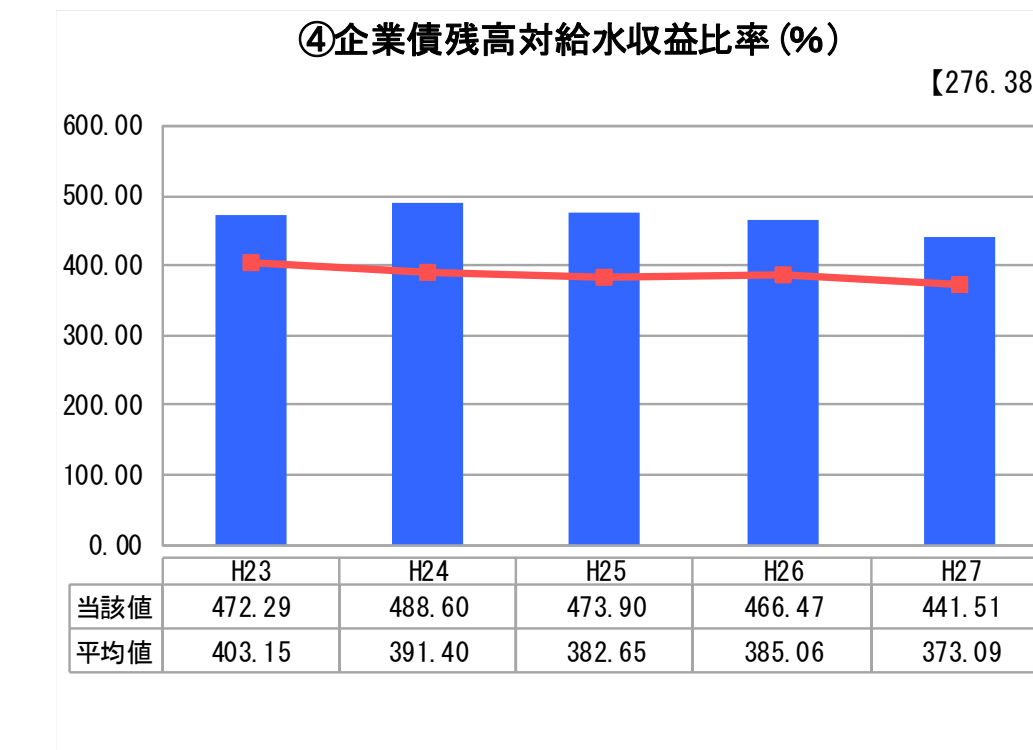
◎類似団体との比較分析

経常収支比率、施設利用率、有収率は平均に比して良好な数値となっている。

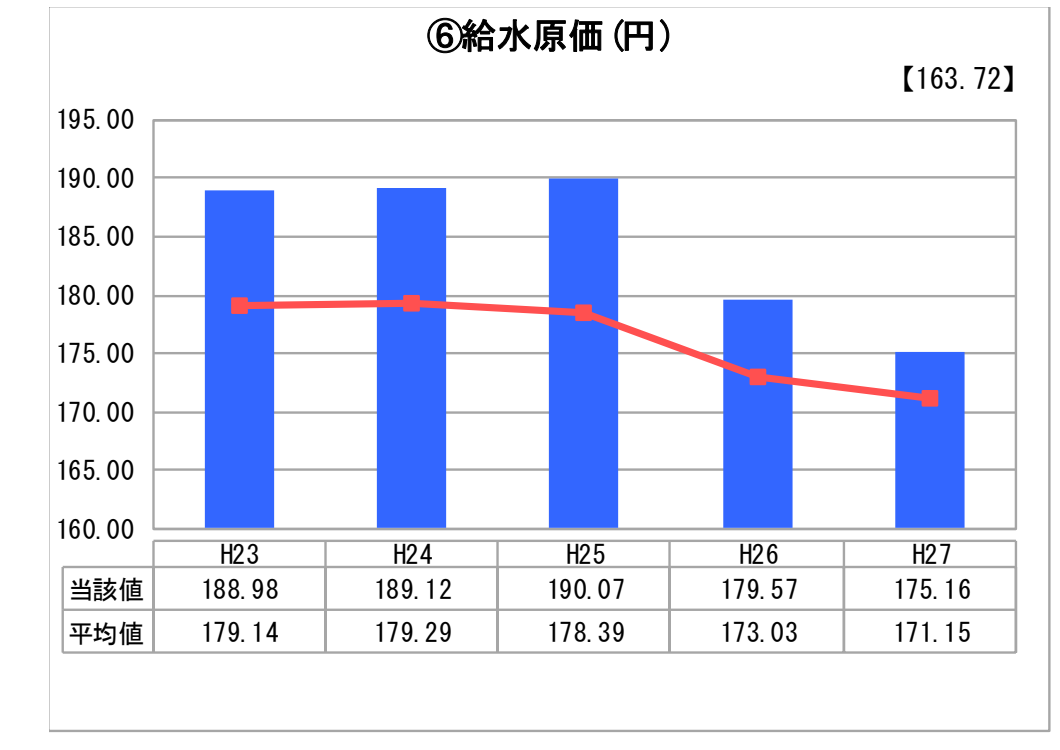
効率的な事業運営がされている。



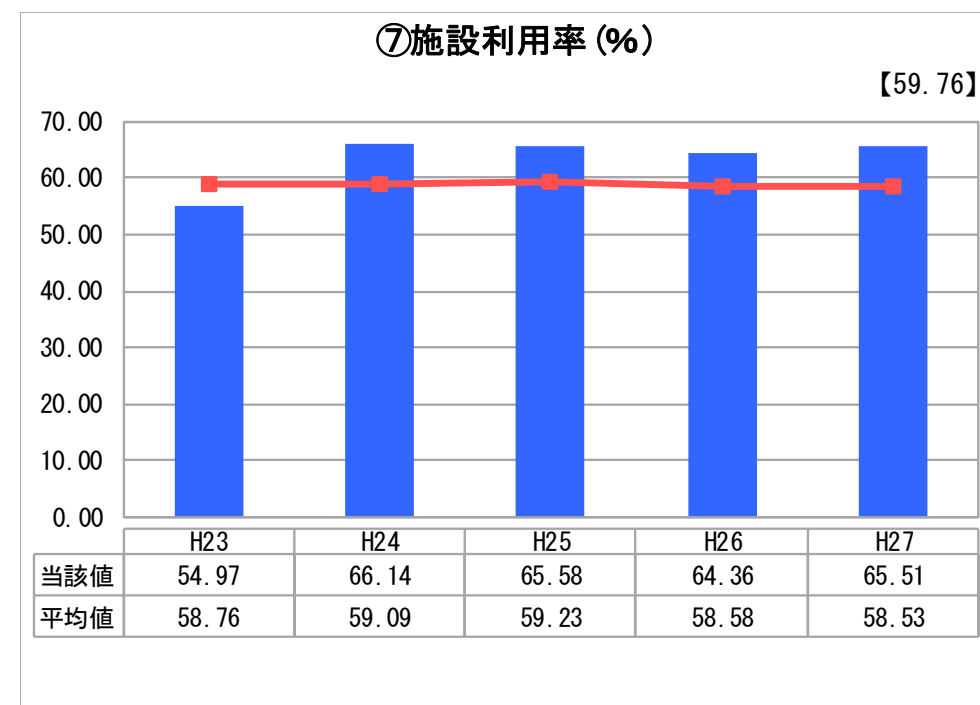
「経常損益」



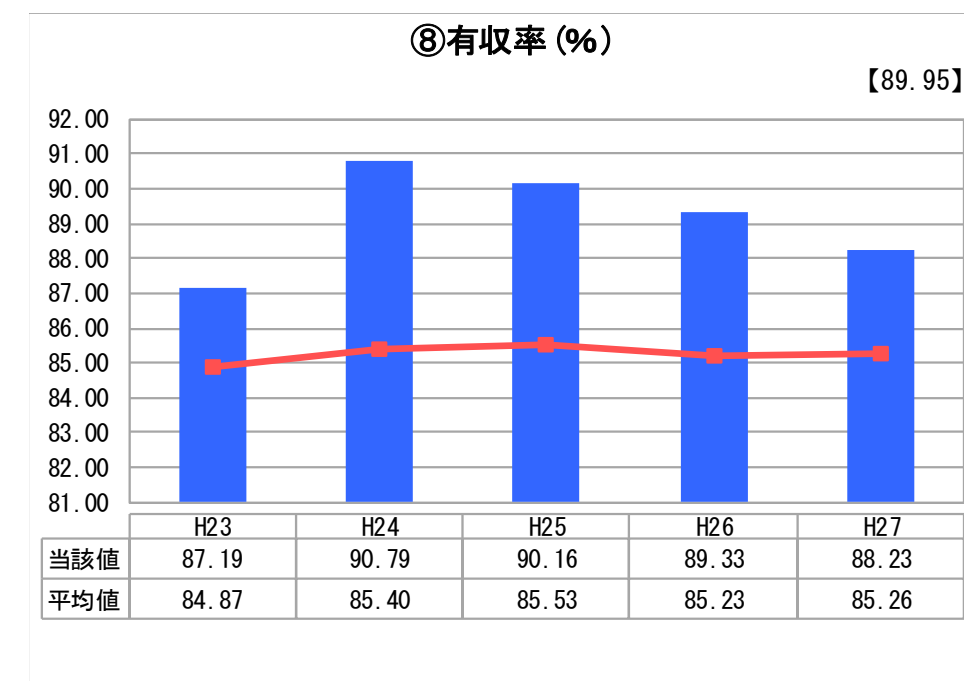
「債務残高」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

◎経営の基本方針

★現状のポイント

- ・収益的収支については、現金収入は減少が見込まれる。
- ・基幹管路の耐震化等、今後も一定水準の投資が必要である。
- ・コストは低く抑えられ、効率的な事業運営がされている。

★今後の取組

- ・基幹管路耐震化及び老朽施設更新等に伴う投資も踏まえ、将来的には料金改定を含め検討を行う。
- ・企業債残高の着実な減少を図るなかで、補填財源の確保のため必要な企業債の発行は継続する。

◎投資・財政計画(収支計画)

単位:千円

区 分	平成26年度 (決算)	平成27年度 (決算)	平成28年度 (見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度
当年度純利益(又は純損失)	237,425	79,149	38,419	62,254	70,623	62,502	54,376	△ 51,073	42,032	35,799	33,295	26,683
補填財源残高	472,476	497,789	496,801	515,030	525,952	526,842	539,517	533,508	513,161	501,519	488,452	479,005
企業債残高	3,023,710	2,888,097	2,804,073	2,716,160	2,677,937	2,637,306	2,591,763	2,541,013	2,384,579	2,230,741	2,083,430	1,945,000

公共下水道事業経営戦略の概要 (事業会計)

資料2

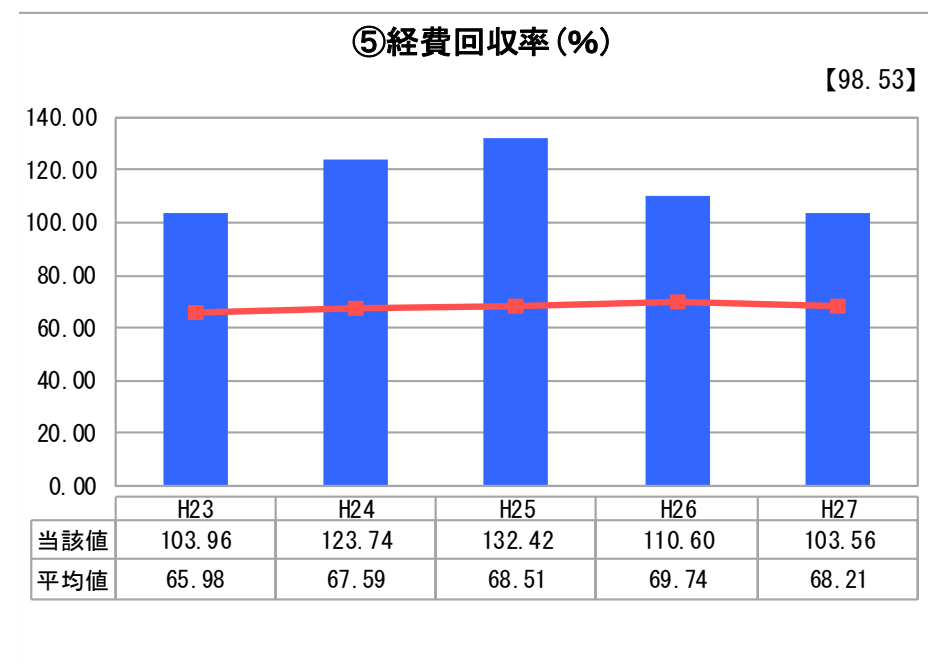
◎これまでの経営改善の取組

広域化・共同化・最適化	平成26年度に特定公共下水道との事業統合を実施
民間活用の状況	料金徴収業務についてH25.10月より民間委託している。

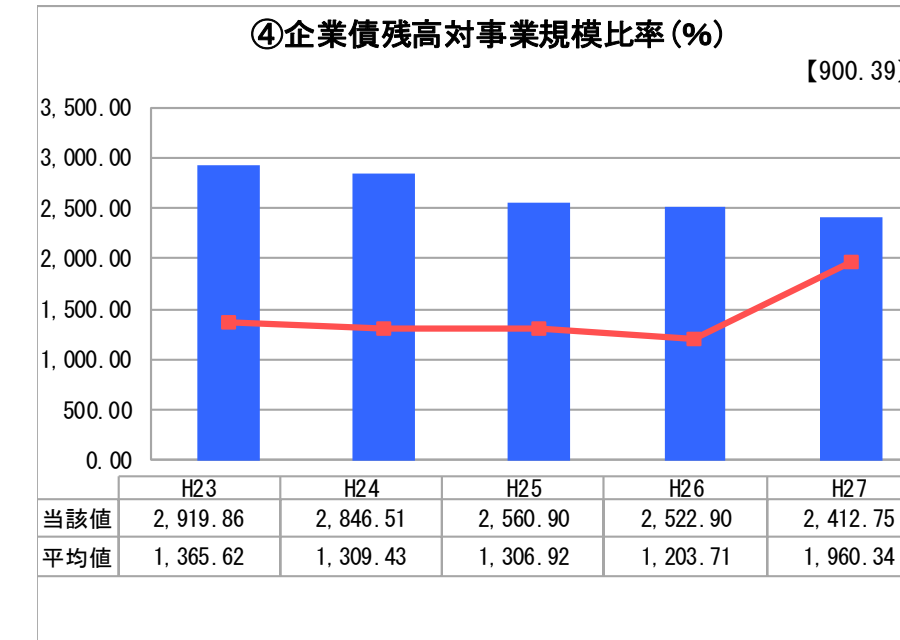
◎類似団体との比較分析

経費回収率、汚水処理原価、施設利用率は平均に比して良好な数値となっている。

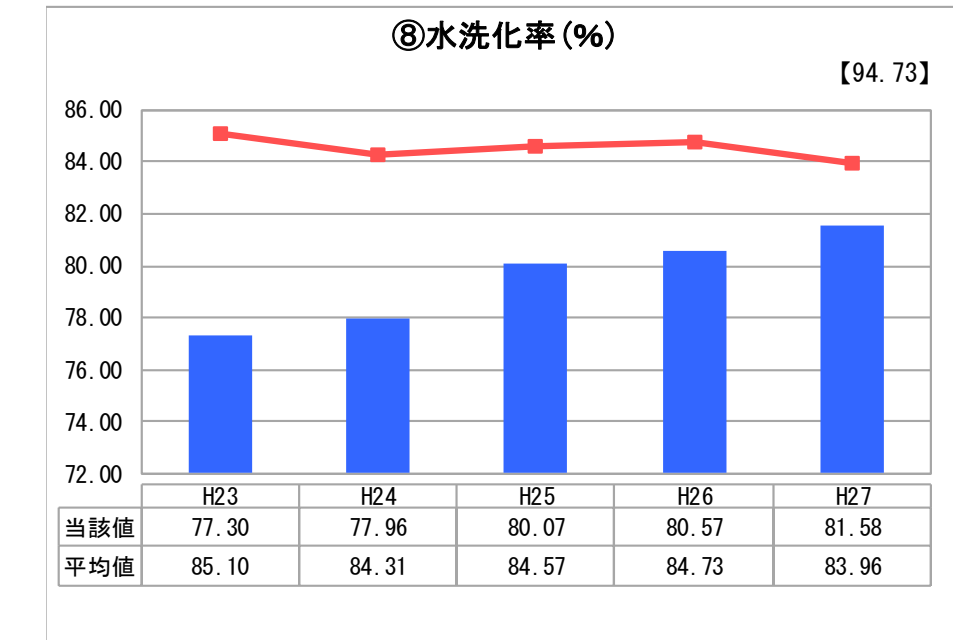
効率的な事業運営がされている。



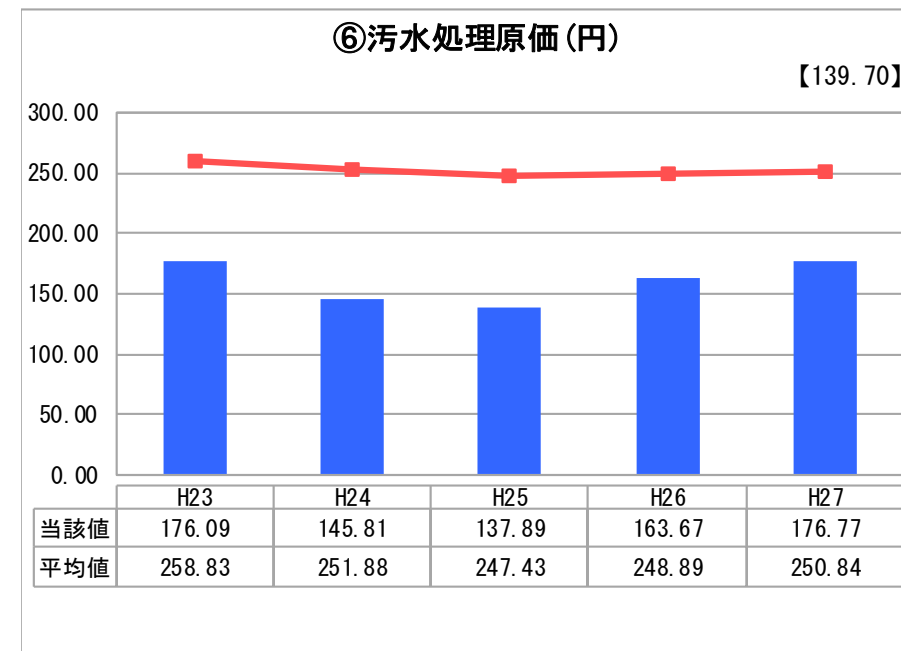
「料金水準の適切性」



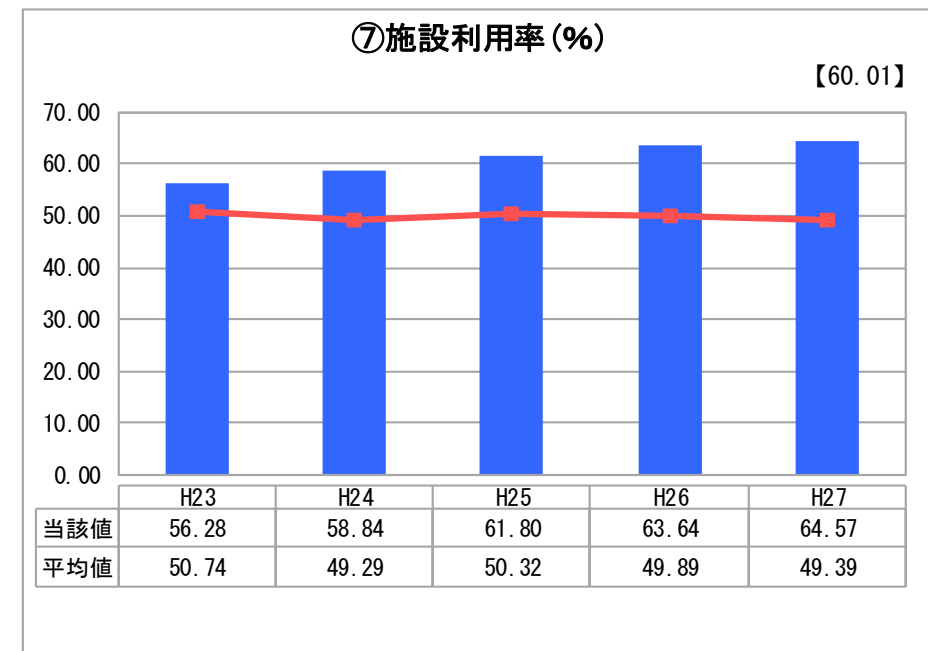
「債務残高」



「使用料対象の捕捉」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

◎経営の基本方針

★現状のポイント

- ・将来の大量更新に向けて自己資本の積み増しが必要(利益の計上)
- ・経費回収率は今後も100%超を見込まれ、効率的な事業運営がされている。

★今後の取組

- ・一般会計からの繰入水準について財政部門との調整、資本費平準化債発行の抑制。
- ・施設の更新時期においてもサービスを持続
 - ①投資の合理化: 将来を見据えた適正な施設能力な維持、長寿命化計画による施設の延命化。
 - ②事業費の平準化: 処理場機器の更新等について、年度間の事業費を平準化。

◎投資・財政計画(収支計画)

単位: 千円

区分	年度	前々年度 (決算)	前年度 (見込)	本年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
当年度純利益(又は純損失)		220,837	119,002	130,540	76,465	88,838	63,403	85,941	96,499	105,236	111,227	108,947	72,121
補填財源残高		510,588	556,022	579,089	549,812	501,809	441,473	364,364	287,534	201,745	131,570	88,885	71,257
企業債残高		9,406,299	9,166,634	8,948,830	8,733,961	8,499,133	8,172,869	7,784,339	7,455,279	7,077,688	6,752,181	6,564,618	6,419,255

農業集落排水事業経営戦略の概要 (特別会計)

資料3

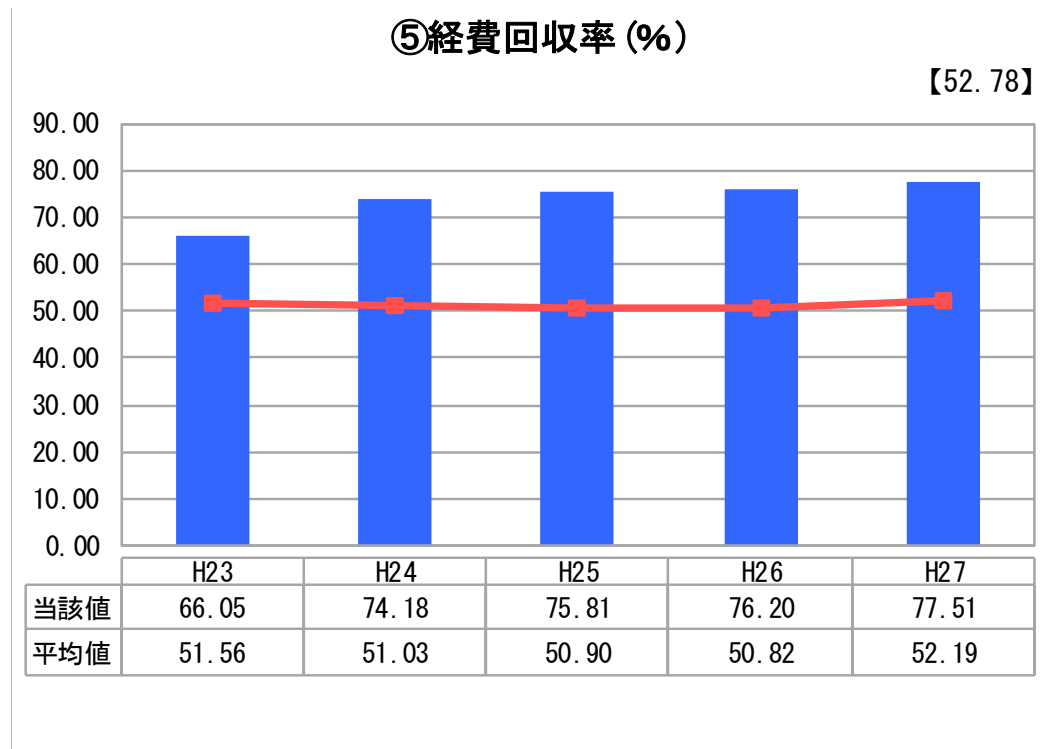
◎これまでの経営改善の取組

民間活用の状況	料金徴収及び施設維持管理事務について事業開始時より委託としている。
指定管理者制度	料金徴収及び施設管理について指定管理者制度を活用した委託を行っている。

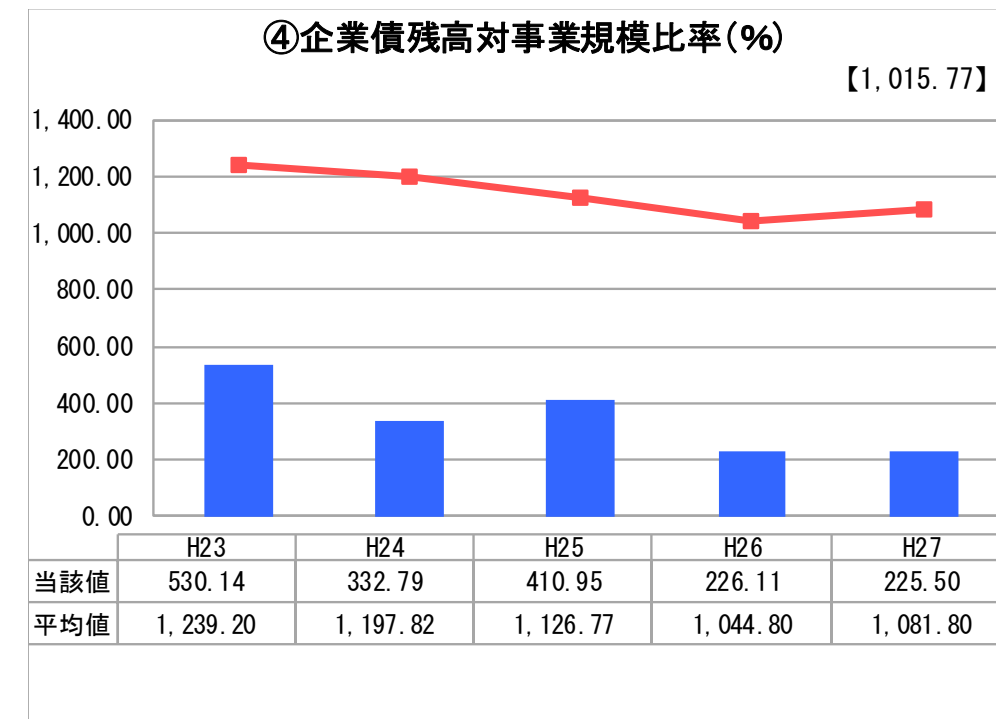
◎類似団体との比較分析

経費回収率、汚水処理原価、施設利用率は平均に比して良好な数値となっている。

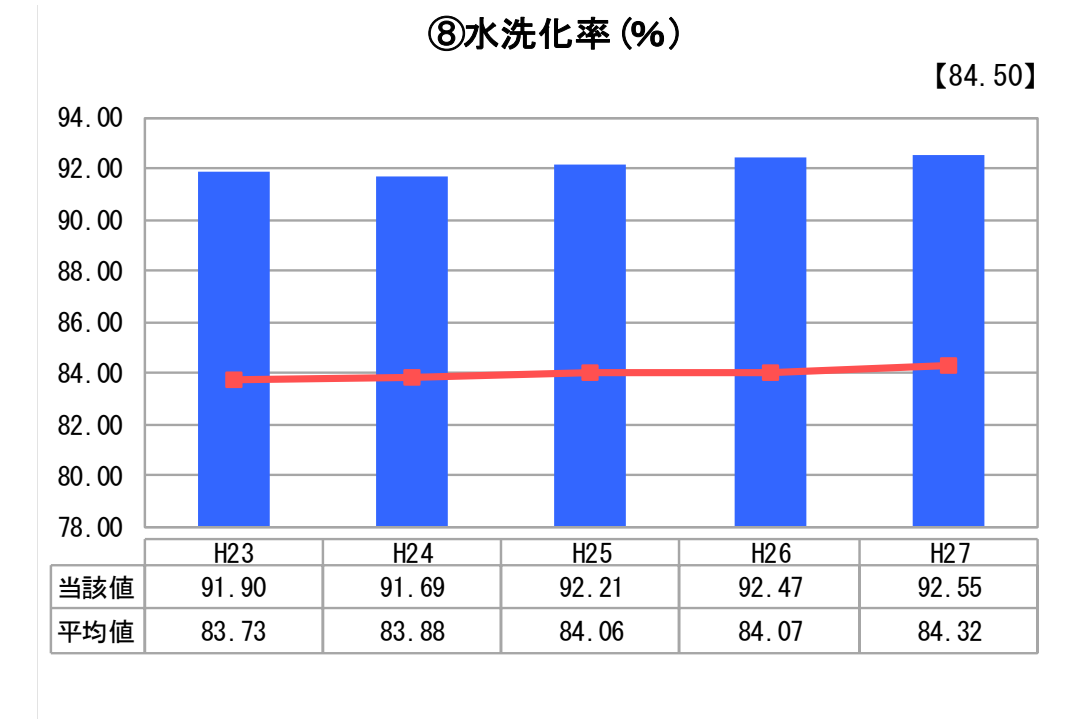
効率的な事業運営がされている。



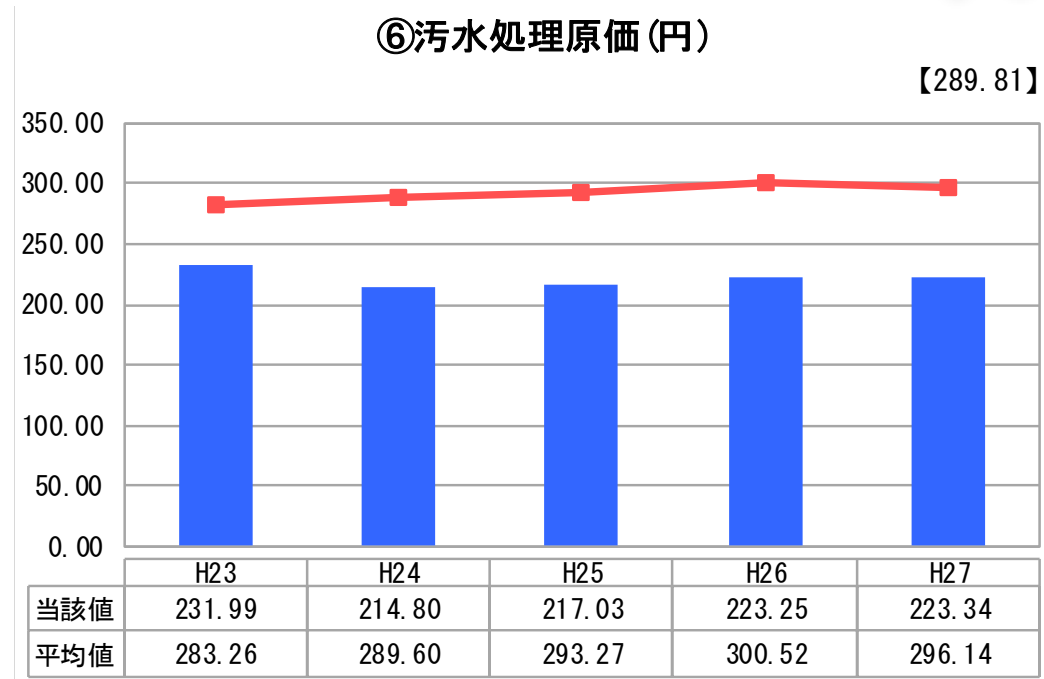
「料金水準の適切性」



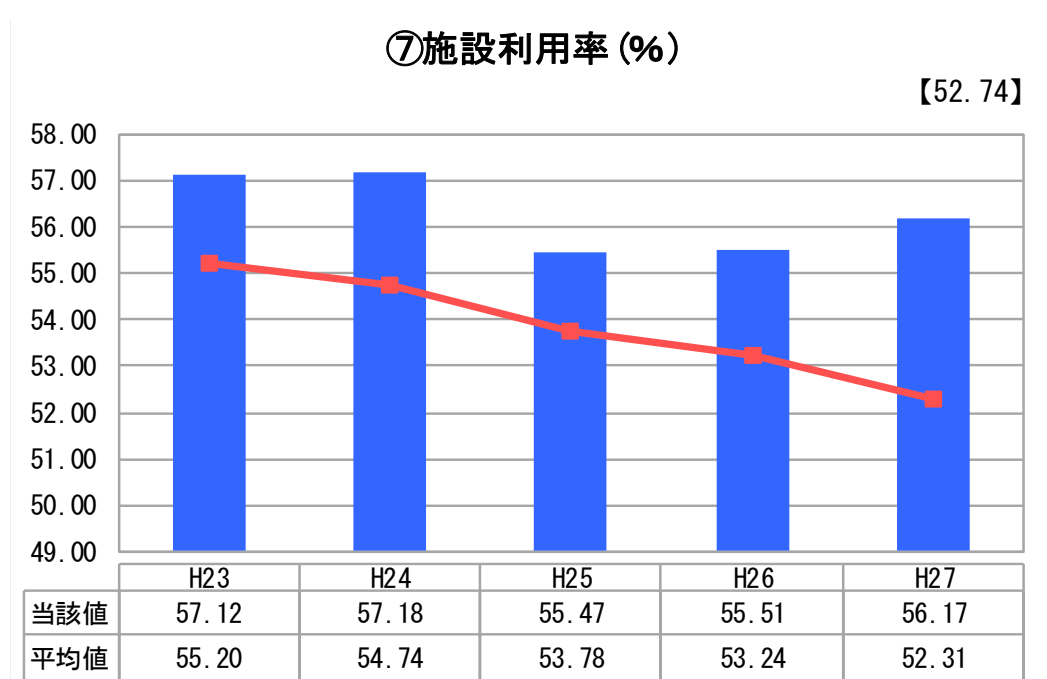
「債務残高」



「使用料対象の捕捉」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

◎経営の基本方針

★現状のポイント

- ・経費回収率は100%を大きく下回っており、一般会計からの補てんを受けいている。
- ・現状の枠組みにおいて使用料が起債の償還に充てられない状況がある。
- ・供用開始後30年近くを迎え、各処理場の施設・設備の老朽化が進んでいる。

★今後の取組

- ・法適用化後に明らかになる経営状況について地元要充分な説明を行い、理解を得て料金水準の見直しを図る。

◎投資・財政計画(収支計画)

※農業集落排水事業については平成30年度の法適化(企業会計化)後に収支計画を見直し。

単位:千円

年 度 区 分	前々年度 (決算)	前年度 (見込)	本年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
総収益	410,029	406,782	401,426	394,837	418,118	422,154	427,738	430,044	428,990	426,575	416,542	414,451
総費用	289,420	272,453	284,072	266,563	279,919	275,853	274,090	270,296	266,403	262,665	259,318	256,814
収支差引	120,608	134,329	117,354	128,274	138,199	146,301	153,648	159,748	162,587	163,910	157,224	157,637
地方債残高	5,635,062	5,443,410	5,264,229	5,037,461	4,800,762	4,543,568	4,289,256	4,016,654	3,740,581	3,464,480	3,193,671	2,921,040